

長浜バイオ大学で雇用する特別研究員PD等の育成方針

長浜バイオ大学は、世界トップレベルのバイオサイエンス研究を行い、学術文化の発展に寄与することを目的に設置された。学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者を育成するため以下のとおりPD等の育成方針を示す。

1. 研究環境の整備

PDが高品質な研究を行えるよう、研究設備やデータベースへのアクセス、研究資金の提供などの研究環境の整備を行う。

2. キャリア開発支援

PDのキャリア開発を支援するプログラムを提供し、次のキャリア選択に向けたサポートを充実させる。学界だけでなく、産業界や政府機関などへの進出を促進するための情報提供やネットワーキングの機会を提供する。

3. 研究指導の充実

PDに対して適切な研究指導を行うため、PDと指導者とのコミュニケーションを強化する。定期的な進捗報告やフィードバックの提供、共同研究の機会の提供など、PDの研究能力向上を支援する取り組みを行う。

4. 多様な活躍の機会と環境の提供

高度な専門性と研究力を持つPDが社会の多様な場で活躍できるよう、国内外の研究機関や産業界との連携を強化する。イノベーションを創出する環境を整備し、PDのアイデアや成果を活かせる仕組みを構築する。

5. 能力開発の機会の提供

研究に加えて、PDのキャリアに役立つトランスファラブルスキル（リーダーシップ、マネジメントスキル等）の習得を支援する。また、研究以外のスキル（コミュニケーション能力、プレゼンテーション技術など）の育成も重視する。

6. 働きやすい労働環境の提供

PDがより効果的に研究に取り組めるよう、柔軟な労働時間制度やワークライフバランスの配慮、福利厚生の実施など、働きやすい環境を提供すると同時に、出産や育児に関する支援策の充実（育児休暇など）や、疲労やストレス管理のためのカウンセリングや相談窓口を設置し、働きやすい環境を提供する。また、女性研究者が直面する特定の課題に対して、適切な対策を講じる。たとえば、マタニティリーブや育児休業後の再就職支援、研究活動の継続的なサポート、性差に関する意識啓発など、女性研究者が活躍できる環境を整えるための取り組みを行う。